

緊急支援のお願い

障害のある学生や研究者の活躍応援基金

障害を抱える人々が独自の視点を活かして
活躍できる社会の実現を目指して

東京大学先端科学技術研究センター
准教授 熊谷晋一郎

2023/7/26



障害のある学生や研究者の活躍応援基金の支援者の皆様



等身大の〈わたし〉の発見と回復

平素より**障害のある学生や研究者の活躍応援基金**にご支援を賜り誠にありがとうございます。

私たちは「構造的な環境整備」と「文化的な環境整備」を通じて、障害のある人々が活躍できるキャンパスと社会を実現するための研究を行っています。皆様の貴重なご寄付を様々な有効活用させていただいていますが、そのなかでも以下のふたつは重要な項目です。

- ・当事者研究者（ユーザーリサーチャー）の研究補助
- ・共同創造が進むイギリス等海外との連携

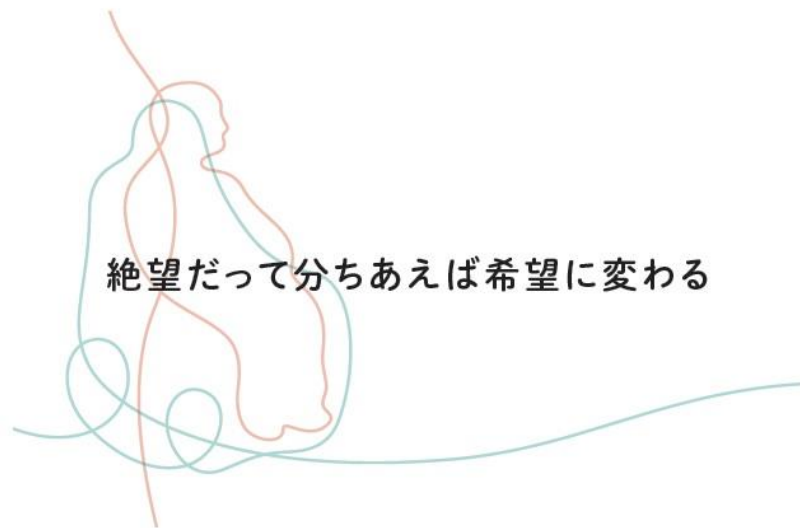
実は今秋から、私と同じ先端科学技術研究センターの福島智研究室所属で日本学術振興会特別研究員PDでもある奈良里紗博士（当事者研究者）が、インクルーシブ教育の先進国であるイギリスで研究を行う予定です。しかしながら、急激なポンド高～円安や現地の家賃の値上げ、戦争の影響による燃油サーチャージや日用品などの高騰等々の影響で、当初予定していた研究予算では足りなくなってしまいました。

ご自身が視覚および聴覚障害をおもちの奈良博士のイギリスでの研究は、私たちが目指す障害者も活躍できる日本社会の実現に大い貢献されると期待しています。

そこで、いつも応援してくださっている皆様に、緊急支援のお願いをさせていただく次第です。

なにとぞよろしくお願い申し上げます。

熊谷晋一郎



当事者ならではの視点による 独創的な研究

東京大学先端科学技術研究センター
福島智研究室

日本学術振興会特別研究員PD
博士 奈良 里紗

効果的な人事異動が特別支援教育の教師の 専門性に及ぼす影響

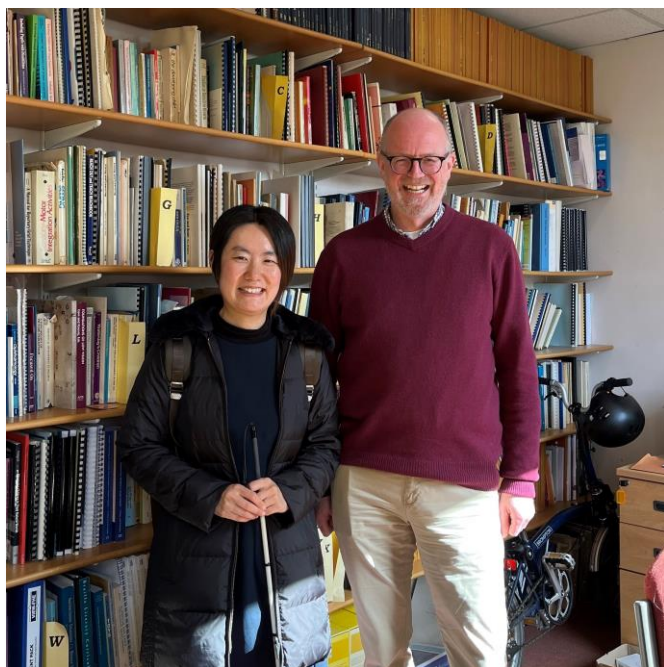
私の研究は、特別支援教育における教師に対する効果的な人事異動を実現するために3つの研究を実施します。

昨年度は、第一研究として国内で特別支援教育の教員養成を担う大学教員50名を対象にしたインタビュー調査を実施しました。現在、データを解析し、聴覚障害教育における教師の専門性の構造について海外誌に論文を投稿中です。

昨年度の研究から、教師の人事異動を適切に行うためには、教師の人事評価が重要であることがわかりました。

しかし、現在の評価方法には課題があり、改善の余地があることも明らかになりました。

そこで、第二研究としてインクルーシブ教育の先進国であるイギリスで、教師の専門性を測定し評価する方法について調査研究を行う予定です。



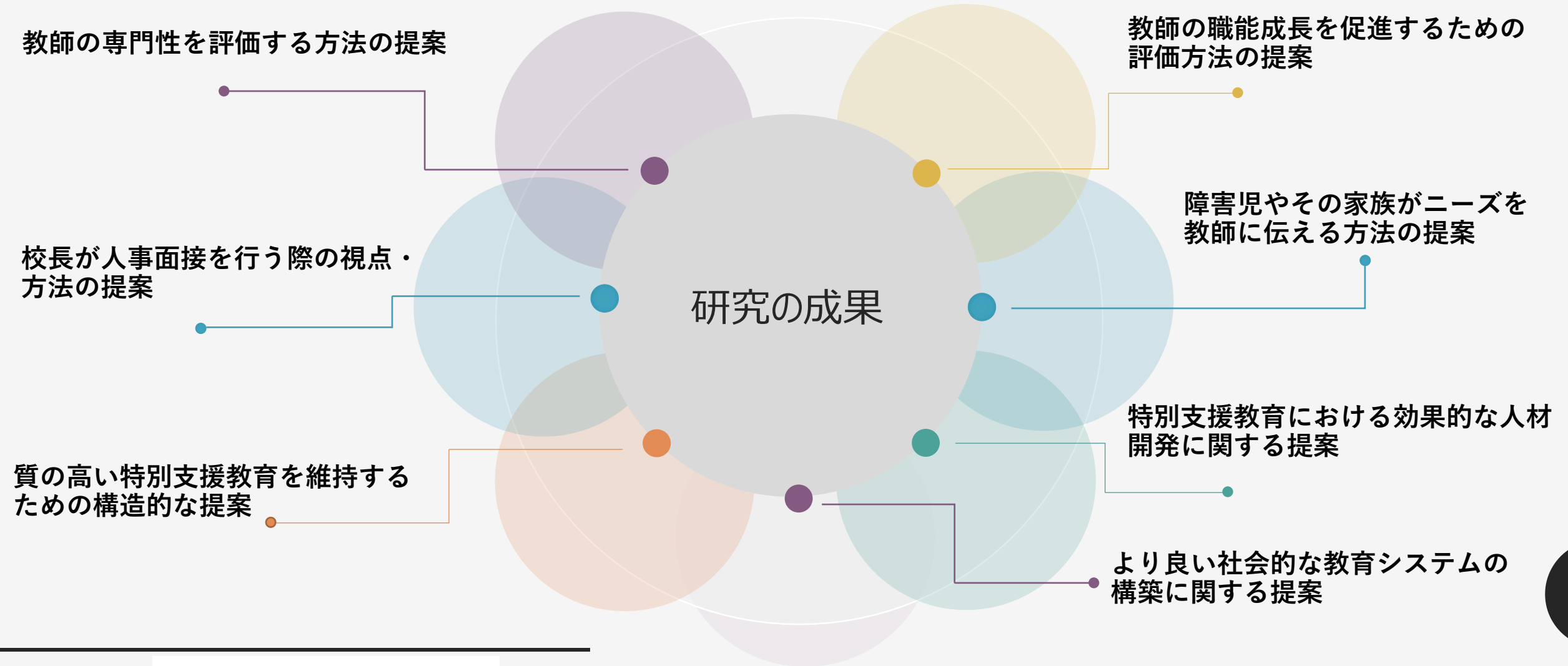
バーミンガム大学で私の受け入れ教員になってくださる Graeme Douglas 教授
前回（2023年3月）に渡英したときに撮影

イギリスのバーミンガム大学は、欧州最大規模を誇る視覚障害教育の教員養成課程が設置されています。そこで、バーミンガム大学を拠点に、教師の評価方法を明らかにするために、下記の4つのフォーカスグループに対するインタビュー調査を実施します。

- ① 視覚障害教育の教員養成に携わる大学教員
- ② 視覚障害教育の教員養成課程に在籍している学生
- ③ 視覚障害教育を専門とする現職教員
- ④ 視覚障害のある生徒とその家族

この調査により、異なるステークホルダーの視点から教師の評価方法が明らかにされ、視覚障害教育の分野における教師の専門性向上と教育の質向上に役立つ知見が得られることが期待されます。

研究の期待される成果



当事者研究者 (ユーザーリサーチャー) 研究支援のお願い



現在、必要な研究費は230万円を想定していますが、当初の研究計画から大幅に増加してしまいました。ポンド高～円安になった為替レート、深刻なインフレによる家賃や日用品の高騰、航空券や燃油サーチャージの値上がり等々が理由に挙げられます。科研費（科学研究費助成事業）と日本学術振興会特別研究員研究費を合わせても約100万円が不足しそうです。

必要金額が集まらない場合は半年の滞在予定を短縮するなど研究を縮小せざるを得ません。皆様の温かいご支援でこの研究を完遂し、障害者が活躍する社会の実現へ貢献させていただきたく、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

支出項目	金額（万円）	備考
渡航費（往復）	30	燃油サーチャージ追加の可能性あり
国際客員研究員としての受け入れ費	25	バーミンガム大学
インタビュー調査にかかる国内旅費	50	イギリス国内の交通費宿泊費
6ヶ月の家賃	72	12万円×6ヶ月
国際学会への参加費	10	2つを想定
英文論文校正費	26	論文2本分想定
通信費	5	インターネット接続等
海外保険加入費	12	大手損保会社
計	230	

※これらの金額は目安であり、為替レート等々により、実際の支出額は異なる可能性があります。

- あらたな感染症や国際情勢などにより、渡航不可となった場合は日本国内でできる調査研究に活用させていただきます。また、必要以上にご寄付が集まった場合は、「障害のある学生や研究者の活躍応援基金」の他の研究活動に大切に活用させていただきます。

ご寄付への感謝



(報告会イメージ)

- ✓ ご寄付くださった皆様に、英国滞在中に1～2度、メールレターをお送りします。
- ✓ 帰国後、寄付者様限定で「皆様のおかげでこんな研究ができました報告会」を開催します。

温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄付は以下のリンクあるいは二次元バーコードから東京大学基金 Webページにお入りください

[障害のある学生や研究者の活躍応援基金](#)



お問い合わせ：
東京大学基金事務局
Email : kikin.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp
Tel : 03-5841-1217